

保育士による
「まち遊びキット」の評価
～導入後のインタビューを通して～

佐藤 朝美*

星野俊樹**

星野裕之***

春日亀美智雄 ****

山内 祐平*

東京大学大学院情報学環* ミサワホーム研究所**

ミサワホーム株式会社*** 春日亀意匠 ****

「まち遊びキット」とは

- 郵便局， 駅， 病院， パン屋の 1メートル四方の建物と， 郵便車， 郵便バイク， 電車， 救急車の乗物(ともに強度なダンボール素材)で構成



郵便車

病院



郵便局



駅

手紙を配る

街をめぐる

電車

パン屋



「まち遊びキット」が出来るまで

研究会・
勉強会の実施

自由保育
観察

ダンボール
ハウス導入

まち遊び
キット導入

評価
実験

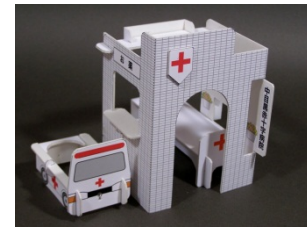
プロジェクトスペーストラム勉強会
保育環境デザイン研究会

の少なさ
・身体遊び以外の中型遊具環境
・ごっこ遊びの種類の少なさ
保育園の自由保育時間の観察

（プレイン・建物編）の導入
ダンボールハウス

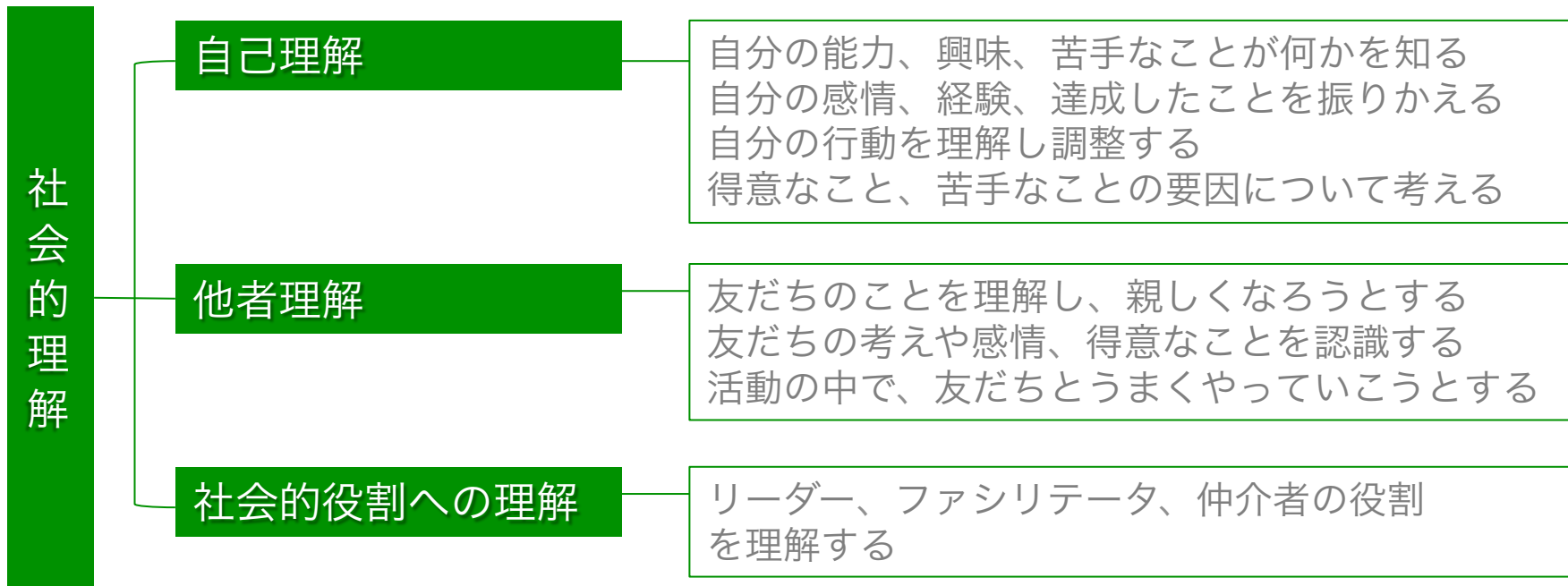


形成的評価
キット作成



本実践（発話分析）

キットで促す社会的理解とは



遊びの中でうまれる社会的相互作用が、社会性を育む。

キットで促すごっこ遊びとは

役割

自分が何の役かを宣言し
相手の役も受入れ、
役を前提としたやり取り
を行う

プラン

テーマを共有し一緒に
展開をつくり上げる

モノ

必要なモノを見立て
ながら遊びに組入れる

C.ガーヴェイ (1980) 「ごっこ」の構造 —子どもの遊びの世界—
(育ちゆく子ども 0才からの心と行動の世界), サイエンス社 より

「まち遊びキット」の導入

■ 実験概要

場所	： 目黒区K保育園に導入	
時間	： 10:00～11:00（前半30分 後半30分）	
観察	： 自由遊び2日間 キット導入5日間	
園児人数	年長11	（前半6 後半5）
	年中15	（前半7 後半8）
	年少16	（前半8 後半8）
	合計42	（前半21 後半21）

評価実験の結果

観察項目		提案	応答			
			承認	拡張	修正	拒否
自由遊び	積み木	23	9	16	15	1
	レゴ	22	24	10	32	5
	滑り台	7	1	2	7	3
	平均台	14	2	6	5	3
	合計	66	36	34	59	12
キット 2日目	郵便局	33	37	35	17	1
	駅	40	17	34	4	0
	病院	32	35	64	23	16
	パン屋	34	31	83	13	3
	合計	139	120	216	57	20
キット 5日目	郵便局	56	9	66	26	3
	駅	39	6	93	6	0
	病院	31	4	61	12	0
	パン屋	38	13	128	24	1
	合計	164	32	348	68	4

保育士のインタビュー

- キット導入5日間終了後
年少担任2名、年長担任1名にインタビュー

◇子どもたちの様子を見た感想

◇キットに対する考え

◇今後のキットの改良すべき点

◇保育に導入するとしたらどのように扱うか



保育士のインタビュー

■ プラスの側面

リアルな建物や乗物を提供することで、長時間保育所で過ごす実社会（地域）での体験時間が少ない子どもたちには、「まち遊びキット」による遊びが地域社会に目が向くきっかけになる

リアルな建物が役割を演じる動機づけになる

■ マイナスの側面

子どもたち自身が思い描く「街」をイメージし、保育士とともに一から遊具を制作していく場合、制作過程自体からの学びが大きいと同時に、遊びの展開も自分たちの想像を駆使することで創造力を発揮する保育が展開できる

子どもたち主導により作成された遊具ではないという点に関して・・・

保育士のインタビュー

保育士がどこまで準備・介入すべきか？という問題

導入

- リアルな「まち遊びキット」が地域での体験の少ない子たちでも「まち遊び」が想起され、役割も自然と振る舞えるし、演じる動機が上がる
- 好みにより分かれがちな友達でも、一緒に遊ぶことが出来る
- 玩具同様、与えられたものである



アイデア出し

制作

導入

- 思いっきり想像力を駆使し、ものづくりに熱中でき、遊びも自由に展開出来る
- 制作過程からも学ぶことが出来る
- （好みやアイデアが同じ）友達と一緒に力を合わせることが出来る
- ただし、経験が乏しければ、それだけのアイデアしか出ない

今後の課題

- 「まち遊びキット」を保育に導入する方法を検討→保育士さんとともにアクティビティの開発
- 「まち遊びキット」を経験の浅い保育士さんにも使用してもらえよう、アクティビティの手引きを開発
- 地域での体験が少ないという点は、「まち遊びキット」だけでは補えない
→キットと連動した子どもたちの体験を増やす方法を検討

ご清聴ありがとうございました。